



戸建部門

最優秀賞

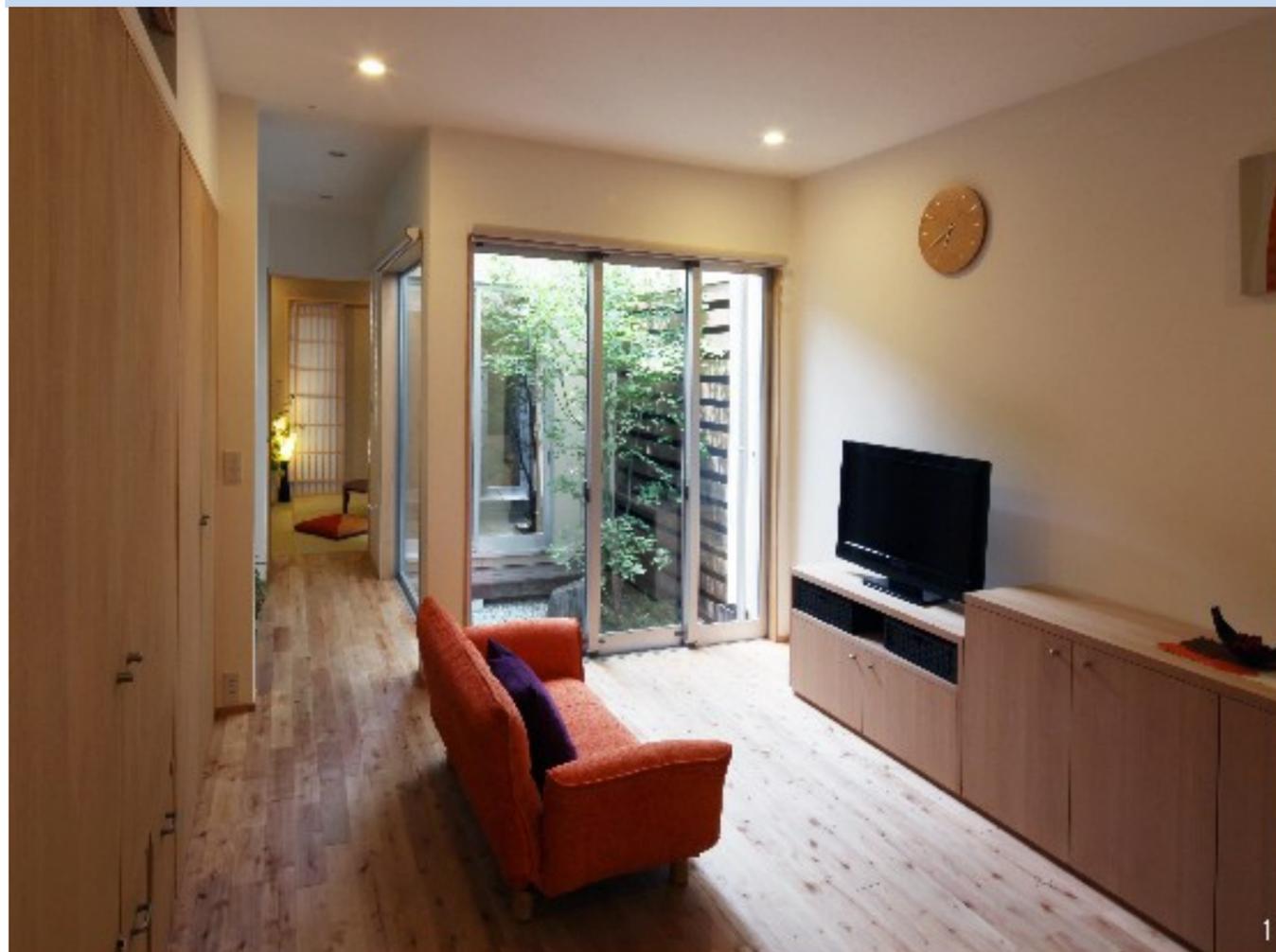
タイトル

住之江の元長屋

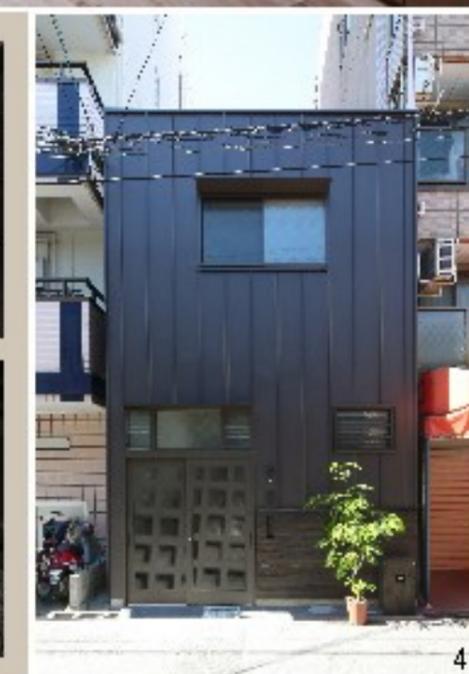
講評

両隣をマンションに挟まれたよくない条件下で、1階に明るい光や風をいれるための光庭を設けるなどの工夫がなされている。大阪らしい、魅力的な居住空間を実現しており、モデル的な改修事例と高く評価できる。

リフォーム・リノベーション前後の写真



BEFORE



リフォーム・リノベーション前（平面図（必須）、その他従前の特徴を表す図面等）



リフォーム・リノベーション後（平面図（必須）、展開図などデザインの特徴を表している図面（必須））



提案された住まい方やまちへの貢献に関するデザイン上の工夫など

6軒長屋は徐々に取り壊され、中央部だったこの家が残った。両隣に建つマンションの為、光も入らない過酷な環境で、築74年を迎えたこともあり、雨漏りも酷くなっていた。住まい手姉妹の年齢も考え、主な生活空間を1階に配置した。そこに光を届ける為、中央部を減築し3畳ほどの光庭をとった。その光庭を介し離れのような和室を設けている。当面は親族が集まった際の客間だが、将来は寝室として使える。屋根の改修によって生まれた2階の高窓、玄関上にある欄間部、1階最奥、和室の障子の向こうにも、防犯を保ったまま風が抜ける工夫がしてある。住戸の中を常に風が通り抜けるよう配慮したものである。60年に渡って兄弟8人が過ごしたこの家を守りたい。大阪で遅しく暮らす住まい手の期待に応え、改修の1つの提案が出来たのではないかと考えている。

デザインに反映した居住者（住まい手）のニーズ

既存住宅を見た際、特に雨漏りの酷かったのが2階バルコニーだった。それにも関わらず、多くの植木があった。花木を育てるのが好きとの事だったので、光庭をドライコートでなく、庭木を植えることにした。モミジは見た目以上に強い樹でもある。木漏れ日、葉の揺れる様は、住まい手を元気にしてくれる。庭木を眺めながらのティータイムは本当に気持ちが良いとの事だった。

居住者（住まい手）の感想

生活空間が明るくなり、さらに緑まで楽しめるようになった事を特に喜んでいる。防犯性能を保ちながら、風通しが良くなった事も、評価頂いた。よく和室でうたた寝をするそうだ。改修前は雨が降ると、雨漏りの不安におびえたが「今は葉に落ちる雨も楽しめる」「これからの人生はバラ色」と言って頂いた。

データ

○所在地  ○築後年数  年 ○工事期間  日間

○リフォーム部分の面積  m<sup>2</sup> ○工事費  万円

○居住者構成 総人数  人 / うち15歳未満  人 / うち65歳以上  人 / ペット

単独  夫婦のみ  夫婦+子  親+夫婦+子(三世代)  ひとり親+子

その他の親族(親族関係者のみ)  親族以外(シェア居住の場合など)  その他

○設計会社  / 担当者

○施工会社  / 担当者

○性能向上の特性  耐震性能  省エネルギー対策  高齢者への配慮(バリアフリー)

防犯性能  維持管理対策  室内空気環境  その他( )

タイトル  部門